



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2006年4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

輪島・和太鼓虎之介が日本一に！2年連続石川県が優勝 ～第8回日本太鼓ジュニアコンクール～



(選手宣誓)

3月19日(日)、(財)日本太鼓連盟主催、長野県支部主管による総務大臣杯・文部科学大臣賞第8回日本太鼓ジュニアコンクールを長野県松本市・まつもと市民芸術館において開催いたしました。全国34都道府県(314チーム3,845名)から選抜された41団体518名(平均年齢13才 最年少5才)が出場し、その腕を競いました。

開会式は、優勝旗を持った前年度優勝チーム手取亢龍若鮎組(石川県)を中央に、全チームがステージに整列して行われました。国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟紀内会長、菅谷松本市長、小口長野県支部長が挨拶。続いて、若鮎組から優勝旗、優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと桶胴太鼓一鼓(3尺)が贈呈されました。

出演順1番目の不知火太鼓(佐賀県)の坂本愛さんが、「日本の文化である日本太鼓を通じ、友情とふれあいを高め、力一杯演奏することを誓います。」と力強い選手宣誓を行い、当財団小口副会長による「初っ切り太鼓」を皮切りにコンクールは始まりました。

出場41団体は、大会要領に基づき5分間で課題曲「飛翔」と自由曲を演奏しました。1,800席の会場は満席となり、朝7時に当日券の列に並ぶ方もいらっしゃいました。

41団体の演奏の後、ブラジルの優勝チーム「ア

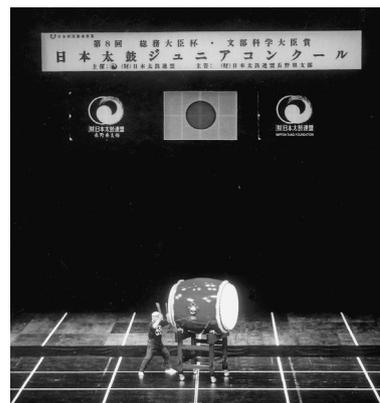
チパイア川筋清流太鼓」が演奏を披露しました。

閉会式では、渡辺貞夫審査員、塩見審査委員長より講評がありました。続いて審査結果が発表され、輪島・和太鼓虎之介(石川県)が総務大臣杯の栄冠に輝きました。このチームは9歳から17歳の11名の編成。第6回大会で4位となり、優勝に至らなかった悔しさをばねに2回目の出場です。今回は、郷土能登を感じる味のある演奏と、伝統の響きで、日頃の練習の成果を十分に発揮しました。また、ゆふいん源流少年隊(大分県)が文部科学大臣賞を、人吉ねぶか太鼓(熊本県)が松本市議会議長賞と、ブラジル太鼓協会賞のダブル受賞となりました。

第8回を迎えた今回の大会は、昨年にも増して高レベルの演奏で、優劣を付け難い大会となりました。全国大会に出場したということが、各チームにとって大きな財産になったと確信しております。

最後に、厳正な審査をして頂いた審査員の先生方、

特別出演の方々、朝早くから、全国より応援に来て頂いた父兄並びにご来場の皆様、そして長野県支部スタッフの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。



(小口副会長による初っ切り太鼓)

輪島・和太鼓虎之介 代表 二木 尚之

今回の優勝に多くの方々への激励やご協力に感謝いたしております。

平成12年に「石川県輪島市に太鼓の新しい風を」の思いで5名で組太鼓に取り組み、イベントなど積極的に参加し、多くの方々に見ていただく機会が増

えました。その後、父兄の方々から自分の子供にも教えて欲しいと入会希望が有り、そこでこの太鼓を通して子供達の健全育成が出来ないものかと、園児から高校生を対象に「人と人とのつながりを大切に」をモットーに各施設の慰問、イベントに参加させて頂き、その活動に共感して下さる方も増え今現在30名のメンバーにまで成りました。設立してまだ6年目と若いチームですが、足早に時間だけが過ぎて行った様な気がします。一昨年の第6回日本太鼓ジュニアコンクールに初めて出場し、結果4位入賞の成績に悔し涙を流し、新たな目標ができ、子供達・指導者・父兄の気持ちが一気に成ったと改めて思う時でした。また、一人では出来ることは限られますが、多くの人で取り組めばいろんな事が出来る、仲間の大切さ、人への思いやりを改めて実感できた瞬間でした。この経験と県内外のイベント、大会に参加させて頂きました関係者の皆様のおかげで、難関の石川県代表として、第8回日本太鼓ジュニアコンクール優勝の栄冠を手に出れたと感謝しております。

また、手取亢龍若鮎組に続き石川県勢が二連覇の偉業を達成する事が出来、二重の喜びを味わっております。その名誉を手にする事で驕る事無く初心に戻り、支えて下さいました皆様方に常に感謝の気持ちを忘れず日々、今まで以上の努力を惜しまず一人でも多くの方に認められる団体を目指し、多くの方々に太鼓の楽しさ素晴らしさが伝えられるような活動をしていきたいと思っております。

最後にこの優勝を手にするまでの期間、私共の活動にご理解ご指導ご協力下さいました皆様に深く感謝申し上げます。感動をくれた子供達にありがとう。



(優勝した輪島・和太鼓 虎之介)

第8回日本太鼓ジュニアコンクール優勝

ジュニアリーダー 山下 大輔 (高3)

僕達は、結成3年で初出場した「第6回日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会」で、優勝を手にする事ができ、翌年、岐阜県で行われる全国大会に出場できる権利を得ました。石川県代表チームは入賞を逃した事がないというプレッシャーや優勝しなければという思いで頭の中がいっぱいでした。

それでも本番中は、前半は緊張しましたが、後半は十分楽しんで太鼓を打つ事ができました。しかし結果は4位でした。かなり悔しかったです。この次は、この全国大会で絶対に優勝したいと思いました。

次の全国大会に出場するには、石川県大会に優勝しなければならないので、まず県大会優勝を目指しました。精一杯頑張ったのですが、結果は無念の3位。

この結果は、太鼓と一から向かい合い、勝負に勝つ事も大切だけど、太鼓をもっと楽しんで打つという事が大事だという事を学びました。

そして、今年は再度石川県大会を勝ち抜き、「第8回日本太鼓ジュニアコンクール」で念願の優勝を手にする事ができました。

この優勝は熱心に指導してくれた先生方、色々な事に協力してくれた保護者の方々、そしてメンバー15人が一つになったおかげで優勝できたと思っております。

僕は、来年の特別演奏を最後にもうコンクールには出場できませんが、後輩たちには何度も全国大会で優勝して欲しいと思っております。

ジュニアコンクール 山口 香名子 (中3)

3月19日、私達、輪島・和太鼓 虎之介は「第8回日本太鼓ジュニアコンクール」に出場しました。

けれども、大会の日と学校の部活動の大会が重なってしまい、コンクールに出場できないメンバーが数人いたため、15人で石川県大会を突破してきたのに、11人で全国大会に出場する事になりました。

出場できなかったメンバーも、今まで全国優勝を目標に頑張ってきたのに、出場できない事を思い、最初はとてもショックでした。だけど、出場できない人達の為にも絶対に優勝してやろうと思いました。

そして、長野に出発する日、私は熱を出してしまい周りの人達に心配をかけてしまいました。

コンクール会場に入った時は、熱のためか緊張のためか、足が震えて本番がどうなるのかとても不安でした。でも、リハーサルが終わると少し気持ちが落ち着いて熱も下がったので安心しました。本番当日は、コンクールに出場できなかったメンバーも応援に来てくれてとてもうれしかったです。本番が近づいてくると先生方が私達に「失敗しても他の誰かが助けてくれる。だから思いっきり楽しんで来い。」と言ってくれたおかげでリラックスして太鼓を打つ事ができました。一番の心配だった笛もどうにか吹ききれたし、楽しく太鼓を打てたので、優勝した時は、本当にうれしかったです。

私達が優勝できたのは、先生方や家族の人達、その他にも大勢の方々の力があっての優勝だと思います。これからも日本一の太鼓チームとして、恥ずかしくない演奏、そして見てくれている方々に感謝の気持ちを込めた演奏、楽しんでもらう演奏をする為、

努力していきたいと思います。本当にありがとうございました。

全国大会 小山 穂乃香 (小6)

明日はいよいよ全国大会だ。朝早くに起きてバスに乗った。「長野に行くんだ。」と胸がドキドキしている。6時間かけて会場に着いた。「広いなあ。」と思った。

リハーサルをやった。あまり力が出なかった。「くやしい。明日はがんばるぞ。」と心に言った。ホテルに着いた。みんなで明日のための髪型をやってみたりした。なんだか楽しかった。次の日、今日はいよいよ全国大会。「絶対優勝する。」と思った。

会場に着き、手打ちリハを何回かした。手打ちリハをすることにドキドキが強まる。

ついにあと1チーム前。緊張で倒れそうになった。いつもの舞台上、こんなに緊張したことはない。「大丈夫。大丈夫。」と自分を落ち着かせる。ついに虎之介の出番だ。頭が真っ白になった。でも「優勝する。」という気持ちは頭から離れない。課題曲飛翔はちょうどいい速さ。自由曲能登の國きりこ祭りは、のってのってのりまくった。終わった。今日のためにこれまで練習してきた全国の舞台は、あっさり終わった。あとは発表を待つだけ。「優勝するかな。」「絶対する。」と思っている半分、「去年は石川県が優勝した。二連覇は難しい。無理かも。」と思っている自分もいる。発表だ、ドキドキしてきた。一位に虎之介が呼ばれたときは今でも忘れられない、もう、うれしくてたまらなかった。今まで練習してきた仲間、指導者のみなさん。ありがとう。

審査委員

- 池田 庄作 (財団副会長)
 岡田 知之 (洗足学園音楽大学教授)
 塩見 和子 (審査委員長・財団理事長)
 中西 智子 (三重大学教授)
 西角井正大 (國學院大學大学院・日本大学大学院講師)
 古屋 邦夫 (財団技術委員長)
 渡辺 貞夫 (サクソ奏者)

(五十音順・敬称略)

特別出演

- アチバイア川筋清流太鼓 (ブラジル)
 手取宥龍若鮎組 (石川県)
 *前年度優勝チーム
 おびなたがくらみきやま
 小日向神楽三才山保存会 (長野県)

〈入賞チーム〉

- 優勝・総務大臣杯・長野県知事賞
 輪島・和太鼓 虎之介 (石川県)
 第2位 ゆふいん源流少年隊 (大分県)
 第3位 邦楽アカデミー 和太鼓 大元組 (東京都)
 第4位 霧島九面太鼓 郷花 (鹿児島県)
 第5位 おおむら太鼓連くじら太鼓 (長崎県)
 文部科学大臣賞 ゆふいん源流少年隊 (大分県)

特別賞 (計11団体)

- 松本市長賞
 信濃国松川響岳太鼓子供会 (長野県)
 長野県議会賞
 利府太鼓 (宮城県)
 松本市議会議長賞
 人吉ねぶか太鼓 (熊本県)
 長野県教育委員会賞
 颯太鼓 (北海道道南)
 松本市教育委員会賞
 山木屋太鼓クラブ (福島県)
 松本商工会議所会頭賞
 天城連峰太鼓 (静岡県)
 松本観光協会賞
 岩舟武蔵太鼓ジュニア「和」 (栃木県)
 信濃毎日新聞社賞
 夕張太鼓保存会「竜花」 (北海道道西)
 SBC信越放送賞
 比屋根華太鼓 (沖縄県)
 テレビ松本ケーブルビジョン賞
 大和の響き.京 (京都府)
 日本財団賞
 アチバイア川筋清流太鼓 (ブラジル)
 ブラジル太鼓協会賞
 人吉ねぶか太鼓 (熊本県)

～ブラジル太鼓チーム招聘～



(日本財団を表敬訪問したアチバイア川筋清流太鼓)

今大会に、昨年に続きブラジル代表チームが出場しました。昨年、「第2回全ブラジルジュニア太鼓選手権大会」(12団体参加)で優勝した「アチバイア川筋清流太鼓」の9歳から19歳の男女14名と、ブラジル太鼓協会2名の総勢16名が日本財団の支援を得て来日しました。

当日は、昨年渡辺洋一氏より指導を受けた「ブラジル太鼓囃子」を演奏し、日本のジュニアにひけを取らないレベルの高い演奏を披露しました。また、日本の同年代のジュニア達から良い刺激を受けたようです。

滞在中、長野と群馬のブラジル人学校で公演し、

生徒と交流を深めました。長野では、小口副会長の御諏訪太鼓会館に招待され、今まで指導で訪れた海外でのお話を伺ったり、世界の珍しい太鼓を見せていただいたりと非常に感謝していました。

また、メンバーの半分以上が初めて日本を訪れた

ということで、各地を視察しました。

長野では、生まれて初めて見る雪に触れ、移動中バスの車窓から見えた富士山をカメラにおさめ、東京では東京タワーのライトアップを背景に夜桜を見て、とても感動した様子でした。

「モロッコ・チュニジア日本太鼓公演」 外交関係樹立50周年を記念して



(デモンストレーションに集まった観衆)

1月26日から2月13日の間、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分県)をチュニジア共和国・モロッコ王国へ派遣いたしました。

この公演は、両国が共に、今年が日本との外交関係樹立50周年を迎えるため、記念事業として太鼓公演を要請され、実施したものです。モロッコでは、ラバト、マラケシュ、カサブランカの3都市、チュニジアではチュニス、スースの2都市で合計6公演及び2回のワークショップを実施しました。パワー溢れる演奏に、全ての公演で拍手の嵐が沸き起こりました。

また、モロッコでは大使公邸で開催された日本人会で演奏を行い、モロッコ駐在の日本人110名の方々に久し振りの日本太鼓の響きを楽しんでいただきました。

公演終了後には、在チュニジア大使館の小野大使より「今回の公演によって日本に対する意識が高まり、広報活動として最高の事業であり、外交関係樹立50周年としても大きな成果があった。」とのお言葉をいただきました。

モロッコ・チュニジア公演を終えて

豊の国ゆふいん源流太鼓 田中 俊亮

1月26日、僕達ゆふいん源流太鼓はモロッコ・チュニジア公演の為、日本を出発しました。東京からパリまで約14時間、パリからモロッコまで約3時間と長い道のりでした。

最初のラバト公演では、日頃練習した成果を出すことができ、公演は大成功。たくさんの拍手をいただきました。

次の公演はモロッコのマラケシュ。移動の車中から見た菜の花に似たコレンジュラという花が山一面を覆っていたのが印象的でした。

マラケシュはモロッコの古都で、サハラ砂漠をイ

メージしたベンガラ色の建物で統一され、街の至るところにナツメヤシの木が植わっている中々雰囲気のある街でした。

どの公演も大成功し、モロッコの人たちにも日本の太鼓の素晴らしさを知ってもらうことが出来たと思います。

チュニジアではチュニスとスースで2公演しました。チュニスは白壁と青い窓枠の家が多い綺麗な街です。チュニスでは公演前に会場の入り口でデモンストレーションを行い、沢山の皆さんが足を止めて聞き入り、そのお陰でその日の夜の公演は立見の皆さんが出る程でした。

また、チュニジアの2会場でワークショップを行い、地元の人々との交流もありました。みんな覚えが早く1時間くらいの短い時間で、簡単な曲と一緒に楽しく練習しました。

モロッコやチュニジアの人達はとても温かく優しい人ばかりで、無事に終える事ができて本当に良かったです。

最後の2日はチュニジアのエルジェム円形闘技場、スースの旧市街、カルタゴ遺跡などを観光することができました。

アフリカと思えぬ寒い中での20日間という長い期間でしたが、この公演を通じて自分自身大きな成長が出来たと思います。このような機会を与えていただきました(財)日本太鼓連盟に感謝申し上げます。



(モロッコでの公演風景)

<派遣メンバー>

豊の国ゆふいん源流太鼓

長谷川義(代表)、河野勝己、佐藤貢一
田中俊亮、長谷川準、佐藤豊、大島己直

(財)日本太鼓連盟

塩見和子(理事長)、中西由郎(常務理事)
浅野義幸(理事)、大澤和彦(総務部長)

大分、青森で講習会を開催



(開会式で挨拶する長谷川会長)

＜第25回日本太鼓全国講習会（大分）＞

2月25・26日、全国講習会が全九州太鼓連合、大分県支部が主管となり、湯布院町のゆふの丘プラザを中心に実施いたしました。大分で2回目の開催となるこの講習会には、地元大分県をはじめ、全国23都府県から215名が参加しました。開講式は、財団を代表して塩見理事長、全九州太鼓連合から長谷川会長、大分県支部から野依支部長が、また首藤由布市長、清水由布市教育長、佐藤全九州太鼓連合顧問よりそれぞれ歓迎の言葉をいただきました。

朝霧や温泉で全国に名をはせる湯布院町での講習会は、由布岳を臨む会場での講習の後、疲れた体を温泉で癒すことができ、受講生に好評でした。

○専門講座

御諏訪太鼓講座 小口 大八氏
大太鼓講座 渡辺 洋一氏
源流太鼓講座 長谷川 義氏

○基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 松枝 明美氏 松元 和敏氏

◇技術認定員検定の結果は次の通りです。

1級検定 16名受検 5名認定 (13名合格)
2級検定 28名受検 13名認定 (25名合格)
3級検定 32名受検 30名認定
4級検定 27名受検 27名認定
5級検定 66名受検 66名認定

＜第27回日本太鼓支部講習会（青森）＞

4月22・23日、青森県支部主催による初の支部講習会が、七戸町の七戸中央公民館において行われ、地元青森をはじめ、山形、秋田、岩手からも参加があり、33名が受講しました。

開会式では、附田支部長より挨拶があり、2日間にわたる講習会がスタートしました。

まだ肌寒い青森では、雪の八甲田山が美しく臨め、昼食に温かい豚汁が出るなど、初の講習会にもかかわらずスタッフの温かい心遣いと団結が感じられる講習会でした。

講習後の検定試験には33名全員が見事合格となり、更に上級を目指して頑張る決意を新たにしようでした。

○基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏
4級基本講座 渡辺徳太郎氏
5級基本講座 鈴木 孝喜氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級検定 12名受検 12名認定
5級検定 21名受検 21名認定



(開会式で挨拶する附田支部長)

4月現在の認定者数

	公認指導員	技術認定員
特	2	—
1	28	64
2	53	118
3	112	474
4	—	824
5	—	3,117
計	195	4,597
合計	4,792	

各講習会のお知らせ

第28回日本太鼓支部講習会

期日 2006年6月17・18日(土日) 会場 札幌芸術の森(北海道札幌市)

講座 5級、4級基本講座

申込 事務局 今池 薫 〒004-0022 北海道札幌市厚別区厚別南2丁目7-2-101 Tel/Fax.011-893-9415

第26回日本太鼓全国講習会

期日 2006年6月24・25日(土日) 会場 鷲ヶ岳高原ホテル・レインボー(岐阜県郡上市)

第29回日本太鼓支部講習会

期日 2006年7月1・2日(土日) 会場 利府町総合体育館(宮城県利府町)

講座 5級、4級、3級基本講座

申込 事務局 佐藤清五 〒981-0104 宮城県宮城郡利府町中央1丁目 Tel.090-2985-9582 Fax.022-356-2367

2006年度に向けて各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

第17回理事会並びに第16回評議員会が3月13日に開催され、次の事項が審議、承認された。

<評議員会>

「2006年度事業計画及び収支予算について」

<理事会>

「2006年度事業計画及び収支予算について」

「規則の改正について」

高齢者雇用安定法の改正により、事業主に継続雇用制度の導入等の高齢者雇用確保措置を講ずることが義務づけられた。そのため、職員就業規則の改正を諮り、承認された。

「支部開設」

広島県支部（5団体）の開設が承認された。

<運営委員会・技術委員会>

第24回運営委員会・第22回技術委員会が1月12日に開催され、次の事項が審議、承認された。

1. 「2005年度事業の実施と今後の予定について」

①上記について資料を基に説明し、了承された。

②ジュニアコンクールの実施について

- ・実施概要を説明し、了承された。
- ・今回の第8回大会より文部科学大臣奨励賞が文部科学大臣賞となった。
- ・今回より、太鼓を借用する団体名を協力として明記することとした。このため、第8回大会は「(株)浅野太鼓」「(有)諏訪響」の2社を印刷物に明記する。
- ・式典の出場団体は、舞台スペースの都合により1団体8名以内とする。
- ・推薦等を含めた41チームとブラジル代表1チームの出場を決定した。
- ・委員による抽選会を実施し出場順番を決定した。
- ・全体の日程案を検討し、原案通り決定した。
- ・審査委員候補者を選考し、決定した。
- ・課題曲について、曲の構成により使用太鼓が多くなるため自由曲との繋ぎ時間を延ばせないかとの提案があったが、検討の結果、規程どおり課題曲から自由曲の終わりまで5分とすることとした。
- ・日本太鼓ジュニアコンクールの今後について検討した。主な内容は次のとおり。

(1) 課題曲の送付時期を早めて欲しいとの要望があるが、諸般の状況を判断し、従来どおり出場候補団体が決定する12月か1月に一斉に配布する。また、支部大会における課題曲については設定する方向で要望する。

(2) 2006年度より、支部大会において20チームを超える参加があった場合は、全国大会への

出場枠を2チームとする。但し、同一登録団体からの複数チームは、その数に含まない。

2. 「2006年度事業について」

申請内容を検討し、助成事業を決定した。

詳細は、次ページ参照

3. 「日本太鼓資格認定制度について」

事務局より、日本太鼓資格認定制度について議案を説明し、審議した。主な内容は次のとおり。

①公認指導員の昇級と認定について

事務局より、1級、2級、3級公認指導員への昇級条件となっている講習内検定に5回以上参加した候補者について報告した。各候補者の指導力について古屋技術委員長から説明があり検討した。

②講習内検定者の検定料について

事務局より、現在、講習内検定者の検定料は免除しているが、今後は技術認定員と同様に検定料を徴収したい。その額については5,000円程度が適当と思われる旨の説明があった。これに対し、特に異議なく承認された。なお、徴収時期は2006年度より実施する。またこれにより、日本太鼓資格認定規程細則の別表に掲げる検定料に公認指導員の項目を追加し、検定料5,000円を明記する。

4. 「その他」

①特別会員の入会について

事務局より、この度、沖縄県の比屋根華太鼓より特別会員として入会申請がある旨の説明があり、満場一致で承認された。

②賛助会員の入会について

「パール(株)」の入会を認めることとした。

<技術委員会>

第23回技術委員会が3月19日に開催され、次の事項が承認された。

1. 「日本太鼓ジュニアコンクールについて」

出場団体に対し、講評を送ることとなっているため、技術委員により各チームの演奏内容等に関して確認し、結果のとりまとめを行った。

2. 「日本太鼓資格認定制度について」

古屋技術委員長より、公認指導員昇級候補者の指導状況について説明があり検討した。

<パール株式会社が賛助会員に>

ドラムの製造で世界的に著名なパール株式会社が賛助会員になりました。

<講習内検定の参加料について>

昨年度までは、講習内検定者は、検定料を免除しておりましたが、今年度より、講習内検定料が5,000円となりました。

2006年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、下記28事業を決定いたしました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<支部講習会>

4月22・23日(土日) 青森県支部 七戸中央公民館 6月17・18日(土日) 道央支部 札幌芸術の森
 7月1・2日(土日) 宮城県支部 利府町総合体育館 10月21・22日(土日) 道南支部 ENEOSスポーツセンター
 11月11・12日(土日) 道北支部 旭川地場産業振興センター
 2月24・25日(土日) 東京都支部 日本財団ビル
 1月予定 愛知県支部 会場未定 新潟県支部 日時、会場未定

<ジュニアコンクール予選>

8月6日(日) 岐阜県支部 高鷲町民センター 11月12日(日) 島根県支部 佐田スポーツセンター
 10月22日(日) 宮城県支部 石巻市民会館 10月22日(日) 栃木県支部 栃木県教育会館
 11月19日(日) 福島県支部 双葉町体育館 11月26日(日) 石川県支部 松任文化会館

<教職員太鼓研修会>

6月11日(日) 長野県支部 御諏訪太鼓会館 6月11日(日) 宮崎県支部 宮崎市民文化会館
 7月26日(水) 青森県支部 七戸町中央公民館 7月29日(土) 群馬県支部 県総合教育センター
 7月30日(日) 栃木県支部 県総合教育センター 8月20日(日) 山梨県支部 落合創造館
 8月下旬 島根県支部 三刀屋町文化体育館 10月14日(土) 道央支部 札幌芸術の森
 11月19日(日) 岩手県支部 水沢総合卸センター 2月18日(日) 道南支部 ENEOSスポーツセンター

<その他>

5月7日(日) 三重県支部 第6回三重県ジュニア太鼓フェスティバル
 9月24日(日) 第15回東北太鼓フェスティバル 第4回全国太鼓の競演 in 天童
 11月19日(日) 北海道道西支部 和太鼓in「いわみざわ」洋楽器の共演
 9月3日(日) 兵庫県支部 兵庫県太鼓フェスティバル

★助成金交付事業 追加募集★

日本財団からの助成金交付事業は、1事業20万円35事業となっております。28事業は既に決定しておりますが、残り7事業を追加募集いたします。希望される支部は、財団事務局までお問合せ下さい。

第3期公認指導員更新研修会の案内

規程により3年毎に行われる公認指導員の第3期更新研修会は、以下のとおり2006年度の日本太鼓全国講習会と併せて実施します。対象は2006年3月31日現在、公認指導員の資格を有する195名となります。

第1回(第26回日本太鼓全国講習会) 6月24・25日(土日) 鷲ヶ岳高原ホテルレインボー(岐阜県郡上市)

第2回(第27回日本太鼓全国講習会) 11月18・19日(土日) のさかアリーナ(千葉県匝瑳市)

第3回(第28回日本太鼓全国講習会) 3月3・4日(土日) 宮崎県総合青少年センター(宮崎県宮崎市)

*なお、この研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意ください。

成田太鼓祭 ～全国太鼓情報発信基地～

4月8・9日、千葉県成田市において毎年恒例の「成田太鼓祭」が開催され、昨年に引き続き千葉県支部、千葉県太鼓連盟が主催、当財団が共催となり「全国太鼓情報発信基地」のブースを設け太鼓を広く紹介しました。パネル展示、チラシ配布、ビデオ上映などを行い、一日目、雷雨に見舞われたにもかかわらず、二日間で約3,500人の来場がありました。



(多くのお客様で賑う全国太鼓情報発信基地)

優秀選手表彰式典

2月19日東京都港区、ホテルパシフィック東京において、昨年に顕著な活躍をした競艇選手を表彰する「平成17年優秀選手表彰式典」(主催(社)全国モーターボート競走会連合会)が行われました。邦楽アカデミー和太鼓大元組(東京都)が出演し、約1,000名の関係者から盛大な拍手が送られました。



(邦楽アカデミー和太鼓大元組)

事務局だより

広島県支部が開設

このたび、新たに広島県支部が開設されました。中国地方では島根、鳥取に続いて3県目となり、これで、37都道府県に41支部が設置されたこととなります。

今岡 誠一 支部長

(鬼神太鼓 代表)



打楽器に魅せられて40年。

「体力の限界を超えた処に私達があります」をスローガンに楽しんできました。太鼓は楽器として、アクセント音より音色を力ではなくスピードで、と色々試行錯誤を繰り返し「完成イコールまんねり」の中で答えの無い答えを求めつつ、自己満足になりがちな、そんな折、兵庫県支部長の児玉先生に出逢い、個性の強い私達の人生観が変わる程の人としての優しさ、強さを教えていただきました。この度は、その児玉先生のお勧めをいただき、日本太鼓連盟に加入させていただきました。また、同支部の桂事務局長には、多くの面で大変お世話になりました。今後は今以上に太鼓教室を増し太鼓を通じて「個性の豊かさと自主性」をスローガンに日本太鼓連盟の名に恥じないよう頑張りますので、よろしく願いいたします。これからの広島県支部は、少しずつですが、確実に躍進しますことを約束として感謝の意とします。

<加盟5チーム・23名>

鬼神太鼓、やまびこ太鼓、甲山こども天真太鼓、口和備神太鼓、広島山陽高校音楽部山陽太鼓"弾"

<事務局> 事務局長 福田龍男 Tel.0867-72-7247

回 運営委員、技術委員

1998年の運営委員会設置以来、4期8年に渡り委員を務めていただきました落部勝司氏と、1期2年に渡り委員を務めていただきました福田正弘氏が、任期満了に伴い、3月31日付で退任されました。長い間、当財団の活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

4月1日より、以下の方が新たに就任されました。

運営委員……畑 忠夫氏(京都府：亀岡武士太鼓)、齋藤 信一氏(福井県：朝六ツ子供太鼓)

技術委員……安江 信寿氏(石川県：手取亢龍太鼓保存会)

回 ブラジル太鼓協会

ブラジル太鼓協会の渡辺一誠会長と宗友夫総務長が退任され、後任に以下の方々が就任されました。
会長：矢野ベードロ氏 総務長：行徳 直幸氏

回 事務局

3月末日をもって大澤和彦総務部長が定年退職し、4月1日より常勤嘱託として事務局長に就任いたしました。

第8回日本太鼓全国障害者大会出場団体募集

期 日 2006年9月10日(日)
会 場 郡山市民文化センター
福島県郡山市堤下町1-2
開 演 13:00(終了予定17:00)
入場無料(入場整理券有)
出 演 20団体程度を予定
申 込 7月31日締切

各支部からの、積極的な障害者チームの推薦を期待しております。支部未加盟の出演希望団体は、当財団まで直接お問合せ下さい。

※学校教育シリーズは、紙面の都合上お休みさせていただきます。

第3回日本太鼓シニアコンクール出場者募集

期 日 2006年12月24日(日)
場 所 白山市松任文化会館(石川県白山市)
主 催 (財)日本太鼓連盟、(社)石川県太鼓連盟他、
主 管 (財)日本太鼓連盟石川県支部
出場資格 ①個人打ち 打ち手は60歳以上
但し、リズム奏者1名(60歳以下)の共演は良い。
②団体打ち 打ち手は、全員60歳以上
演奏時間 3分から5分程度
費 用 全ての費用は、出場者の自己負担とする。
表 彰 名人位、準名人(2名程度)、その他特別賞
申 込

原則として、手紙、Fax、mailでお願いします。
(社)石川県太鼓連盟事務局

住 所 〒920-3121 石川県金沢市大場町東57
担 当 事務局長 北村吉則 Fax.076-258-0265
E-Mail. ishikawa-taiko@p2223.nsk.ne.jp